

日本養生学会第11回大会（ようせいフォーラム2010）のご案内（第2報）

2010年2月12日

春の訪れが待たれる今日この頃です。皆様におかれましては新年度に向けまだお忙しい日々が続いていることお察し申し上げます。

先日、メールにて「ようせいフォーラム2010」の第1報を差し上げましたが、プログラムの詳細が決まりましたので、ここに第2報を送らせていただきます。

今回のようせいフォーラムは、これまでの流れを受け継ぎながらも、新たな展開も模索した内容にしようと奮闘してみました。至らない点は多々ありますが、多くの会員の皆様の参加をお願いし、ご意見賜りたいと存じます。よろしく願いいたします。

大会実行委員長 天野勝弘

- 【主催】 日本養生学会
【期 日】 平成22年3月22日（月・祝）～23日（火）
【会 場】 東京女子大学（杉並区善福寺2-6-1） 25号館（体育館）2階
【参加費】 正会員（当日会員も含む）3,000円 学生（院生・研究生）1,000円
懇親会費 5,000円 学生 3,000円
【組織委員】 大会実行委員長 天野勝弘（関東学園大学）
大会実行副委員長 藤永 博（和歌山大学）
同 矢田部英正（武蔵野身体研究所）
【大会事務局】 〒373-8515 群馬県太田市藤阿久200
関東学園大学 天野研究室
mail: amanoringo-at-kna.biglobe.ne.jp
（-at-を@に置き換えてお送りください）

プログラム

【総合テーマ】 養生学・温故知新

— 養生学の新たな展開に向けて —

3月22日

11:00～12:00 新旧常任理事&新旧理事会（合同開催）

12:00～12:30 受付

12:30～12:40 開会式

12:40～15:15

シンポジウム コーディネーター：矢田部英正（武蔵野身体研究所）

テーマ「養生学の視点から、これからの身体教育を考える」

スポーツ運動を中心とした近代体育の流れに対して、日本の風土や歴史に根ざした「これからの身体教育」のあり方を、さまざまな角度から考えたいと思います。

司会：天野勝弘（関東学園大学）

1. からだとところと自己を考える ～体育授業の実践から～ 遠藤卓郎（筑波大学）

2. 新しい身体文化の創世への取り組み ～コミュニケーションする身体～

平山満紀（江戸川大学）

3. 時代が求める身体の動向 ～健康誌の視点から～

北村昌陽（ライター・元日経ヘルス副編集長）

4. 身体技法とは何か？ ～生活と瞑想の身体史～

矢田部英正（武蔵野身体研究所）

休憩 (10分)

指定発言

1. 小林勝法 (文教大学)
2. 平沢信康 (鹿屋体育大学)

質疑応答

15:20～15:40 特別研究発表

米寿の健康づくり

演者 川崎 晃(元岡山理科大学)

15:40～15:50 着替えなど

15:50～17:15 実技研修 司会進行 美馬美千代 (上智大学)

1. 真向法 渡邊志保 (真向法協会)
2. 西式健康法 太田正和 (元岡山理科大学)

17:25～17:55 総会

18:20～ 懇親会 (東京女子大学・72年館)

3月23日

9:30～12:00 特別企画「養生学の一つの方向性を考える」

コーディネーター：藤永博 (和歌山大学)

テーマ「アスリートからの養生学への期待」

提案趣旨

1. 「スポーツ動作法の視点」 藤永 博 (和歌山大学)
 2. 飛込競技ナショナルチームコーチからのレポート紹介
立命館大学相撲部監督からのレポート紹介
藤本 浩 (NPO 法人 海と自然の体験学習協会)
- 「ジャパン・アスリート・サポート・システムの取り組み」

養生法はアスリートに何をもちたらしうるか ～養生法実践者数名からの提言～

<指定発言>

1. 岡村隆二 (NPO 法人 気の活用コム)
2. 羽根善弘 (小石川整体・気功院)
3. 増田 勝 (太極拳研究者・日本学生武術太極拳連盟) ※表演つき

<フロアから>

数名の指定発言者をお願いするつもりでいます
フロアからの自由な発言も求めます

12:00～13:00 昼休み

13:00～15:00 一般研究発表 8題 (予定)

15:00 閉会式

【参加申し込みについて】

参加申込用紙（別紙）を用いて、締め切り日までに FAX、または E-メール(別紙を添付の形で)でお申し込み下さい。

参加申込期日： 2010年2月27日（土）

申し込み先： 大会事務局宛

(天野勝弘：関東学園大学)

mail: amanoringo-at-kna.biglobe.ne.jp

(-at-を@に置き換えてお送りください)

※宿泊、昼食は各自でご手配下さい

※会場へのアクセスでご不明な点があれば、事務局までお問い合わせ下さい
詳細な案内をお送りいたします

【研究発表の申し込み・抄録等について】

一般研究発表担当（責任者）： 平工志穂（東京大学）

発表時間： 1 演題に 15 分予定（12 分発表、3 分質疑応答）

申込数により変更の可能性あり

発表資格： 発表者、共同研究者共に学会員であること。

期 日： 発表申し込み： 2月27日（土）

抄録原稿： 3月10日（水）

抄 録： 原則として A4 版 1 枚にまとめてください。

11 ポイント、2 段組でお願いします

発表演題名、発表者氏名・所属（発表者に○）

図、表、写真も可

申込方法： 発表申し込み、抄録提出は下記にお願いします。

なるべく E-メールで下記にお願いします。

hiraku-at-idaten.c.u-tokyo.ac.jp

(-at-を@に置き換えてお送りください)

ようせいフォーラム2010参加申し込み

ふりがな _____

ご氏名 : _____

住 所 : _____

E-メール: _____

電話番号: _____

○ で囲んで下さい。

* 参加 (22日、23日、参加しない)

* 研究発表 (申し込む、申し込まない)

* 懇親会 (参加する、参加しない)

ご連絡・ご希望など
